



特定の教会でX世界家庭集  
会を準備するためのパスト  
ラルキット



## 特定の教会でX世界家庭集 会を準備するためのパスト ラルキット

1.	イントロダクション3.....	
2.	ガイドライン4.....	
3.	会議の.....プログラムから始まる特定の教会のためのアイデア7	
	牧会プログラムの概要8.....	
	会議・パネル.....ディスカッションの想定される内容についての説明10	
	カンファレンスN.110	
	国内教会とシノダリティ10.....	
	かいぎにじゅういち	
	FAMILY LOVE:すばらしきかな、はかなきかな13.....	
	カンファレンスN.316	
	クリスチャン・ファミリーの.....アイデンティティとミッション16	
	カンファレンスN.421.....	
	マリッジカテキュメネート21.....	
	カンファレンスN.526	
	聖なる道としての家族	
	.....	
	.....	
4.	セレブレーション・タイムの.....提案30	
A.	世界家族.....会議週間発足31	
B.	家族で.....瞑想する機会に関するアイデア31	
C.	聖体拝領39.....	
D.	閉会聖体拝領40.....	
	一般的な提案:.....40	
	信者の.....祈りのためのアイデア40	
	説教のためのアイデア42.....	
	家族への.....義務付け43	
	祝詞44.....	

CCC	カトリック教会のカテキズム
EG	FRANCIS, Ap.Exhort.Evangelii Gaudium (2013年11月24日) JOHN
FC	PAUL II, Ap.Exhort.Familiaris Consortio (1981年11月22日)
FT	FRANCIS, Encyclical Lett. フラテッリ・トゥッティ (2020年10月
GS	3日)
LG	第二次ヴァチカン公会議、過去会憲第二バチカン公会議『ガウディウム・
LS	エ・スペース』(1965年12月7日) 第二バチカン公会議『教義憲章』(1964年
ChL	11月21日) フランシスコ『回勅』(1964年11月21日 Lumen Gentium
	(1964/11/21) FRANCIS, Encyclical Lett. ラウダート・シ (Laudato Si) (2015
	年5月24日
	ヨハネ・パウロ2世、Ap.Exhort.Christifideles Laici (1988年12月30日)



## ABBREVIATIONS

ALFRANCIS, Ap. Exhort. アモリス・レティシア (2016年3月19日)



## 1. イントロダクション

次回の世界家庭集会は、世界中の教区に分散して開催される予定です。パンデミックによる限界は、この意味で、家族が教区の会議に真に参加し、貢献するための機会であることが証明されています。

各教会は、地域の資源を最大限に活用する一方で、ライブストリーミングでローマ教皇庁の会議を聞き、その様子を追うことができるため、教会的な体験をすることができます。

とりわけ、世界大会は現在の教会のシノドスの旅の一部であり、家族の「参加、交わり、宣教」の貴重な体験となることを証明することができます。

このVademecumは、地方集会の開催を担当する特定の教会を支援するために作成されています。各教区・小教区は、この司牧キットの中で提供されている指標からインスピレーションを得ることができますが、同時に、その地域の文化的背景や司牧上の必要性に応じて、自由に取り組みを適応させることができます。

教会の目標は、各共同体の特徴を持つ世界的なイベントを実現することです。

CCC  
EG  
FC  
FT  
GS  
LG  
LS  
ChL





## 2. ガイドライン

### お役立ちリンク集

- ガイドラインのプレゼンテーションビデオです。  
<https://www.youtube.com/watch?v=ge8MY8TKFE8>
- WMOF公式サイト  
<https://www.romefamily2022.com/en/>
- Amoris Laetitia Family Yearのイニシアチブ/リソース:  
<http://www.laityfamilylife.va/content/laityfamilylife/en/amoris-laetitia/iniziativa-e-risorse.html>

### 1. 教区は、教皇とともにWMOFを祝うために、どのように準備すればよいのでしょうか？

- このイベントを開催するにあたり、各教区では、この目的のために十分な人数の、一組だけに限定されない司牧チームを立ち上げることを提案します。
- この機会に、現地の実情を知る配偶者からの提案も可能な限り歓迎します。
- WMOFのテーマを利用する。"家族愛：召命と聖性への道"。
- すでにあるWMOFのシンボルを使う：ロゴ、賛美歌、イメージ、祈り、そしてすべての材料は、今後数ヶ月の間にDicasteryから提供される予定です。必要であれば翻訳してください。<sup>4</sup>
- WMOFの7つの準備カテゴリーを、カップルのグループ、小教区、または家庭で使用することを検討してください。
- この教材に加え、「アモリス・レティシア 家族年」の期間中、修道院が制作したすべてのツールを使用することができます：教皇と世界の家族が登場する10のビデオ、婚約者のためのロザリオ、家族のためのロザリオ、「家族とともに歩む」カード、デカログなどです。

### 2. WMOFを他の教区と合同で開催したり、神社と連携して実現することは可能ですか？

- 確かに。司教が自分の教区は小さいと考えたり、近隣の他の教区や教会管区のレベル、あるいは国のレベルでWMOFを組織することを希望したりする場合でも、聖父が提案した「多中心的で広範囲な」WMOFの精神は維持されるべきである。

時差があれば、教皇のアンジェラスをライブで、あるいは再放送で、事前に確認することができます。

または聖ミサの後。これが不可能な場合は、司教が家族に指示を与えることとなります。

### 5.WMOFの準備のための他のリソースはどこで利用できますか？

WMOFの準備のためのすべての司牧資料は、そのサイトに掲載されます。

[あなたの教区でWMOFを - #WMOF22 \(romefamily2022.com\)](#)



### 3. 教区で祝われるWMOFのプログラムはどのようなものだろうか。

- 2022年6月22日から26日まで、各教区が家庭を司牧の中心に据え、WMOFのテーマを反映した活動を行うことを目標としています。それは、世界中の家庭と教区が一体となった、一種の「家庭週間」となることでしょう。
- 基本的な基準は、各教区の自由と創造性です。ローマで行われているプログラムをそっくりそのまま繰り返す必要はないのです。
- ローマでの祝典との時差により、教区は聖父の演説や司祭会議のライブストリーミングを企画したり、ローマとは異なる時間にYoutubeで映像を見たりすることも可能です。
- ローマで提案されたものと同じようなテーマで、司教や教区司祭が指定した講演者（できれば夫婦）が担当する地方会議を組織することも可能です。

### 4. 教区や小教区でWMOFの日をどのように開催することができるのか。

- 所在地教区、教区、神社 ...
- テーマ家族の愛：召命と聖性への道
- 祝賀会：開会、閉会、聖体礼拝、聖ミサ。
- 貢献：会議、証言、共有、祝賀会
  
- **6月22日（水）**：WMOFは、小教区で聖体祭典を行い、最後に看板と、例えば以下のような手紙を各家庭に贈ることで発足させることができます。  
ビショップの
  
- **6月23日（木）、24日（金）**：小教区または家庭で夕方の集会を開催することができます。カップルは、その日の会議のビデオを見た後、一緒に話し合いの時間を持つことができます。
  
- **6月25日（土）**：教区（または複数の教区を組み合わせた別の場所）、または神社などの場所に家族を招待することができます。  
会議、証し、グループワーク、分かち合い、そして祝賀の瞬間など、家族のために捧げられた一日となることでしょう。
  
- **6月26日（日）**。教区司教の司式で、教区の家族と一緒に聖体の祭儀を計画することができます（カテドラルまたは他の適切な場所で）。その日のアンジェラスの間に教皇によって行われるように、家族たちはWMOFに由来する委任を受けることができます。

また、神社は教区の枠を超えた大きなイベントの会場としても適しています。それは神社が所在する教区の司教および近隣の教区の司教と取り決めればよいのである。





6. 教区での集会を実現するために、教会運動や家族会はどのような役割を果たすことができるでしょうか？
- 家族運動や協会は、それぞれのカリスマ性に基づいて、家族を巻き込み、司牧的な提案をするために協力するために、教区会議を開催するために司教に協力することができます。

るこ  
ます

5.WA





### 3. ローマでの司牧大会のプログラムから始まる特定の教会のためのアイデア

教区では、ローマでの世界大会の週に夜の集会を企画したり、平日働いている家族のために週末に司牧集会を開いたりすることも可能であろう。

以下は提案とアイデアであり、各教会はその繊細な性質に従って強化したり修正したりすることができます。

#### コンファレンス

ローマでは5つのカンファレンスが開催され、少なくとも5ヶ国語の同時通訳付きで、ライブストリーミングで視聴することができます。

ローマでは、教区と同じように、すべての家庭に存在し、教会に提供するために探求されるべき宝物を強調することを目的とした会議が開かれます。また、神学的、理論的な内容ではなく、各家庭の生活に触れ、家庭宣教に有効なインスピレーションを与えるための具体的、実践的な内容を提示することが重要である。

教区の会議では、学んだことを自分自身の生活や共同体の生活の一部とし、そうすることで豊かさを感じて帰国できるよう、内省の時間を設けることもできます。

#### パネル

ローマでは、各会議の後に2回ずつ、計10回のパネルディスカッションが行われ、これも5カ国語以上の同時通訳付きで、ライブストリーミングでご覧いただけます。

パネルは、人々が証しをし、司牧の道具を分かち合う場です。ローマで発表される各パネルには、メインテーマを含む3つのテーマがあります。各テーマは、教会における優れた司牧実践の豊かさを共有するために、世界の異なる地理的地域からのカップル／家族によって発表されます。

地域レベルでは、他のカップルや家族の証しを紹介する会議を開催し、司牧レベルで選択したテーマをどのように組み合わせたらよいかを他の人が理解できるように、対話の余地を残すことができます。







## 牧会プログラムの概要

### カンファレンスn.1

#### 国内教会とシノダリティ

##### PANEL I 配偶者と司祭が共に教会を築き上げるために

- A. 補完的で共同責任な2つの職業
- B. 家庭と牧師が共に歩むミッション
- C. 家族間のコミュニティづくり

##### PANEL II 老いも若きも共に、明日の教会へ

- A. 高齢者の役割
- B. シノダンの旅における若者と高齢者
- C. 教会の司牧における祖父母と高齢者

### カンファレンスn.2

#### 家族の愛。素晴らしく、そして壊れやすい

##### PANEL I 困ったときの家族愛

- A. 裏切り」と「赦し
- B. 結婚
- C. 放棄

初期の難しさ

##### PANEL II 父性と母性の同伴

- A. 父親と母親が必要
- B. 養子縁組と里親キリスト教的な選択
- C. 新しい生命を迎え入れる、いつも

### カンファレンスn.3

#### クリスチャンファミリーのアイデンティティとミッション

##### PANEL I デジタル時代のキリスト者であるこ

と

A.キリストを中心とした家族のあり方

B.現代の若者への信仰の伝達

C. ソーシャルメディア：子どもたちの「環境」  
？

**PANEL II 実存的周縁部における召命と使命**

A. 移民中

B. 依存症に直面して

C. 家庭内で暴力があった場合



## カンファレンスn.4

### こんいんきょこう

#### PANEL I 介護者と形成者の形成：信徒、司祭、神学者

- A. 青少年の性と情緒に関する教育
- B. 牧師・神学者の養成
- C. 配偶者の常時同伴

#### PANEL II 家族の聖体拝領、教会的な聖体拝領のスタイル

- A. 家族的な交わりと教会的な交わり
- B. 人生の様々な状態を通して、教会における男女の互惠関係
- C. 教会における父性、母性、兄弟愛

## カンファレンスn.5

### せいそくてき

#### PANEL I 聖なるものへの道

- A. 日々の家庭生活における見識
- B. 新婚カップルのためのスピリチュアルガイダンス
- C. 夫婦のどちらかが非信仰者である場合

#### PANEL II 夫婦と家族：日常生活における聖性



## 会議・パネルディスカッションの想定される内容についての説明。

### カンファレンスNO.1

#### 国内教会とシノダリティ

##### ゴール

- 家族は、自分たちの中に、教会に提供するよう求められている賜物を見出すことができます。
- そして、教会は、家庭が福音化の真の源であることから、家庭の存在を賜物として認め、その存在価値を高めています。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 教皇フランシスコが提案したシノダル・プロセスによれば、「各メンバーは、互いに結ばれて、自分の重要な役割を果たしている」（『シノダルに関するミッションVademecum』1.3参照）のだそうです。家庭は、国内教会として、この旅の一部であり、シノダル・プロセスのキーワードである "交わり、参加、宣教" の場として自らを提供します ("こうしてキリスト教家庭は、教会の真の本性をすべての人に明らかにするのです。このことは、夫婦の相互愛によって、彼らの寛大な実りによって、彼らの連帯と忠実によって、また、家族のすべてのメンバーが互いに助け合う愛の方法によって、家族が行うであろう"(cf. GS n. 48; "So that the Church, in fully to understand its mystery, looks to the Christian family, which manifests her in real way" AL n. 67)。
- しかし、一方では、家庭を "目覚めさせ"、家庭が教会の中で表している賜物の自覚を伝えることが必要です。他方、教会は、聖霊が家庭に与える賜物を大切にすることを学び、家庭を福音化の主役として認識することが大切です。家庭は "家庭教会であると同時に、社会における福音化の源" (AL n. 290) とならなければならないのです。



## パネル1

### 夫婦と司祭が一緒になって教会を盛り上げる

#### a. 補完的で共同責任な2つの職業

##### ゴール

聖性への共通の召命は、すべての信徒がそれぞれの道を歩みながら、教会の中で、さまざまな生活の状態の間の交わりの構造を形成し、互いに補完し合っています。宣教のための相互共同責任は、配偶者と聖職者、特に司教に、教会の組織を作り上げるために生産的に協力するよう求めています。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 「聖職者と婚姻は、他者の救いに向けられたものである。[中略] それらは教会における特別な使命を与え、神の民を建て上げるために奉仕する。(カトリック教会のカテキズム1534)。
- 信徒の共通神権と聖職者神権または階層的な神権は、それにもかかわらず、相互に関連しています。(LG、n.10)

#### b. 家庭と牧師が共に歩むミッション

##### ゴール

神の民を建て上げる」という同じ使命でありながら、それぞれ貢献できることが異なるため、家庭と牧師は協力して宣教することが求められています。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 聖職の秘跡に加えて、また聖職の秘跡とともに、配偶者と家族は宣教のための秘跡です (CCC n.1534)。彼らの使徒的衝動は洗礼と結婚の恵みに由来し、このアイデンティティのおかげで、彼らは証しをし、福音を伝え、教会的交わりの精神を授けることができるのである。(cf. AL n. 201)

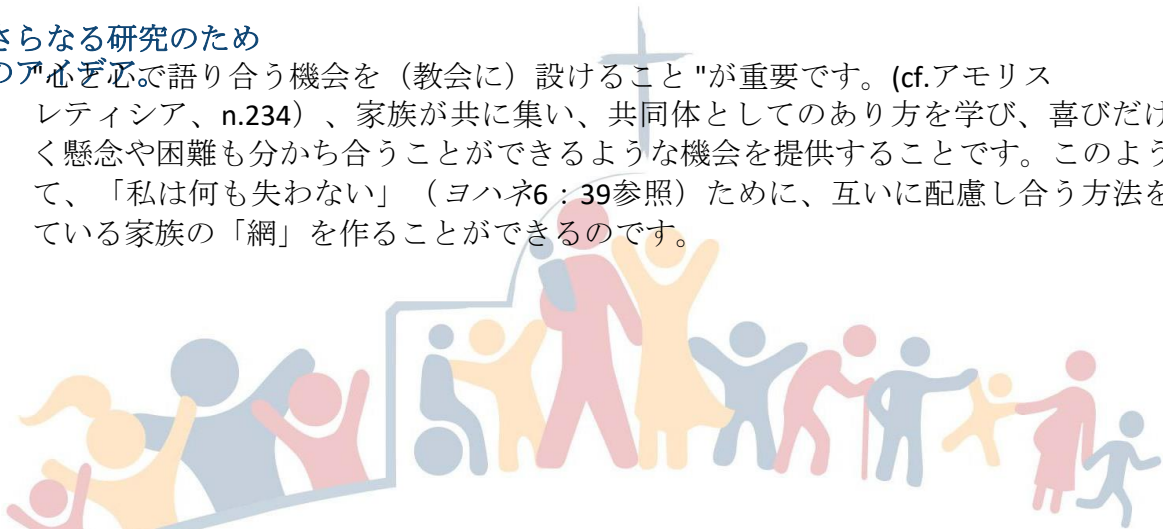
#### c. 家族間のコミュニティづくり

##### ゴール

それぞれの家族は、心を開き、自らを捧げるだけでなく、他の家族の助けを歓迎するよう求められています。今日の個人主義社会では、家族は孤独と孤立に苦しみ、特に深刻な困難に直面したとき、家族を救うために地域社会は非常に重要であり、家族が直面するあらゆる課題（子育て、病気、悲しみ、経済的困難など）において一人ではないと感じさせます。

##### さらなる研究のため

の「**心**」を語り合う機会を（教会に）設けることが重要です。(cf. アモリス レティシア、n.234)、家族が共に集い、共同体としてのあり方を学び、喜びだけでなく懸念や困難も分かち合うことができるような機会を提供することです。このようにして、「私は何も失わない」（ヨハネ6：39参照）ために、互いに配慮し合う方法を知っている家族の「網」を作ることができるのです。



## パネルII

### 老いも若きも共に明日の教会へ

#### a. 高齢者の役割

##### ゴール

家族内外、社会、教会共同体における高齢者の重要性を強調すること。高齢者の役割は、世代を超えて記憶と信仰を伝える上で決定的なものとなり得るからです。

さらなる研究のためのアイデア。

- 第1回「祖父母と高齢者のための世界デー」のための教皇フランシスコのメッセージ  
<http://www.laityfamilylife.va/content/laityfamilylife/en/amoris-laetitia/pastoral-resources-world-day-for-grandparents-and-the-elderly21.html>

#### b. シノダンの旅における若者と高齢者

##### ゴール

シノダスの旅に出るとき、老いも若きも互いに対話し、互いの賜物を見分けることを学ぶよう求められているのです。

さらなる研究のためのアイデア。

- "参加"。神の民に属するすべての人の参加を求める呼びかけです (...)。すべての信徒は、それぞれが聖霊から受けた賜物を通して互いに仕える資格を持ち、召されている。シノダス教会では、共同体全体が、その自由で豊かな多様性においてを作るために、祈り、耳を傾け、分析し、対話し、識別し、助言を与えるために召集されます。  
。神の意志にできるだけ近い司牧的決定" (参照：Vademecum for the World of the Year シノダリティに関するシノダス)。
- "高齢者を孤立させ、家族の親密さや心配りを欠いたまま他人の世話になることで、家族そのものを形骸化させ、貧困化させてしまうのです。また、若者から必要なルーツとのつながりや、若者が自分たちだけでは達成できない知恵を奪ってしまうことになるのです"。(FT n. 19)

#### c. 教会の司牧における祖父母と高齢者

##### ゴール

「福音を宣べ伝える仕事に定年はない」。高齢者は司牧に、また横断的な方法（子どものカテケーシス、青年宣教、家族宣教...）で貴重な貢献をすることができるのです。

彼らは聖職への召命と教会における霊的使命を持っています。

さらなる研究のため

の第1回「祖父母と高齢者のための世界デー」に向けた教皇フランシスコのメッセージ。

<http://www.laityfamilylife.va/content/laityfamilylife/en/amoris-laetitia/pastoral-resources-world-day-for-grandparents-and-the-elderly21.html>

パストラルケアのための国際会議の結論 "人生の多くの年の豊かさ"、

<http://www.laityfamilylife.va/content/dam/laityfamilylife/Eventi/LaRiccazaDegliAnni/Testi/Conclusions%20ENG.pdf>



## 第二会議

### 家族の愛。素晴らしく、そして壊れやすい

#### ゴール

家族の中で生きる愛の美しさと、それ自体が非常に壊れやすいものであるため、常に世話をする必要のあることを示すこと。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- "家庭の福音は人間の深い期待に応えるものです"。(AL n. 201)
- 結婚の喜びとは、結婚生活が楽しみと苦勞の入り混じった必然的なものであることを受け入れることです。  
夫婦が互いを思いやる気持ちを持つようになる」。(参照：AL n.126)
- AL番号88-119。



## パネルI

### ピンチの時の家族愛

#### a. 「裏切り」と「赦し」 ゴール

- 裏切りを許した人たちの証言・考察を提供すること。
- 教会内で実験された司牧の道を明示すること。

#### さらなる研究のためのアイ デア。

- AL nos.231-240。
- AL nos.105-106。
- 「すべての家族は、平和の神から、喜びと新しさの体験のために召されています。"和解"、つまり、交わりの回復、一致の回復"です。(FC n. 21)

#### b. 結婚初期の難しさ ゴール

- 性格の違い、子どもの誕生や不妊、家族との関係など、結婚当初の困難を克服するために地域社会から支援を受けている若いカップルの証言・考察を提供する。
- 教会内で実験された司牧の道を明示すること。

#### さらなる研究のためのアイ デア。

- AL nos.217-230。

#### c. 放棄 ゴール

- 育児放棄というテーマと家族の歩んだ道について、証言・考察を行うこと。
- 結婚の秘跡に忠実であることを選び、人間の失敗という試練を超えて永遠に愛を生きるという約束を確認した別居中の夫婦を対象とした霊性の道を提供する司牧体験があるかどうかを示すこと。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 再婚していない離婚した人々は、しばしば結婚の貞節を証言していますが、現在の生活の中で彼らを支えるために必要な栄養を聖体に見出すように励まされるべきなのです"。地域社会と司祭は、このような人々に心をこめて寄り添うべきです"。(AL n. 242)

結婚の美しさについて、信頼できる方法で証言しています。  
「忠実」である。(AL n. 86)







## パネルII

- "教会は内なる喜びと深い慰めをもって、福音の教えに忠実であり続ける家族に目を向け、彼らを励まし、彼らが提供してくれる証に感謝します。それは

まだ何もしていない、話すことも考えることも知らないうちに、愛されているのです」

。  
[https://www.vatican.va/content/francesco/en/audiences/2015/documents/papa-francesco\\_20150211\\_udienza-generale.html](https://www.vatican.va/content/francesco/en/audiences/2015/documents/papa-francesco_20150211_udienza-generale.html)

[https://www.vatican.va/content/francesco/en/speeches/2019/may/documents/papa-francesco\\_20190525\\_yes-to-life.html](https://www.vatican.va/content/francesco/en/speeches/2019/may/documents/papa-francesco_20190525_yes-to-life.html)。



## パネル 父母同行

### a. 父親と母親が必要

#### ゴール

家庭と教会の中で、父性と母性の役割を積極的に受け入れることができる男女の重要性を強調すること。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 私は確かにフェミニズムを大切にしていますが、画一化を求めたり、母性を否定したりするものではありません。なぜなら、女性の偉大さは、その譲ることのできない人間としての尊厳に由来するすべての権利と同時に、社会にとって不可欠な女性的才能に由来する権利も含んでいるからです。(AL n. 173)
- 私たちの社会は「父親のいない社会」だとよく言われます。西洋文化では、父親像が象徴的に不在、行方不明、消滅していると言われます。男らしさそのものが問題視されているようです。(AL n. 176)

### b. 養子縁組と里親キリスト教的な選択

#### ゴール

里親や養子縁組によって一人ぼっちの子どもを引き取ることが、生成的であることを求められているキリスト教家庭の典型であることを、証しによって示すこと。

#### さらなる研究のためのアイデア:

- 「養子縁組や里親の選択は、結婚生活の特徴である実りを表現することもできる」(AL n.82)。(AL n. 82)

### c. 新しい生命を迎え入れる、いつも

#### ゴール

病気や障害、経済的な事情で、特に困難な状況の中で胎児の命を迎え入れた人々の証言・考察...  
。新生児を迎えることの難しさに直面し、歓迎／同伴したパストラルの経験を示すことができる。

#### さらなる研究のためのアイデア。

結婚の美しさについて、信頼できる方法で証言しています。  
「忠実」である。(AL n. 86)





## パネルII

- "子供が愛されるのは、自分の子供だからだ！"。私の夢を体現してくれるからではない。愛されるのは私たちをいつも一番に愛してくださる神様の愛のように、生まれる前から

まだ何もしていない、話すことも考えることも知らないうちに、愛されているのです」

。  
[https://www.vatican.va/content/francesco/en/audiences/2015/documents/papa-francesco\\_20150211\\_udienza-generale.html](https://www.vatican.va/content/francesco/en/audiences/2015/documents/papa-francesco_20150211_udienza-generale.html)

[https://www.vatican.va/content/francesco/en/speeches/2019/may/documents/papa-francesco\\_20190525\\_yes-to-life.html](https://www.vatican.va/content/francesco/en/speeches/2019/may/documents/papa-francesco_20190525_yes-to-life.html)。





## 第三会議

### クリスチャンファミリーのアイデンティティとミッション

#### ゴール

今日、キリスト教家庭は、社会と教会の中で、その特別なアイデンティティと特別な使命を発見するために学び直さなければなりません。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 「キリスト教家族は、"生活と愛の親密な共同体"として、その在り方、行いにおいて、教会と社会への奉仕に身を置くことによって、独創的かつ具体的な方法で、教会のミッションに積極的かつ責任を持って参加するよう求められている。"(FC n.50)(FC n. 50)
- "キリスト教家庭は共同体であるから、[...]教会のミッションにおける家庭の分担は共同体のパターンに従うべきである：夫婦は夫婦として、親と子どもは家族として一緒に、教会と世界への奉仕を生きなければならない"(FC n.50)(FC n. 50)
- 「キリスト教の結婚は、友愛のあかし、社会的関心、恵まれない人々のための率直な意見、輝く信仰、積極的な希望によって社会を活気づけます。その実りは拡大し、無数の方法で神の愛を社会に現前させるのです。"(AL n. 184)(AL n. 184)
- クリスチャンの配偶者と両親が、自分たちの"家庭教会"が普遍的な教会の生活と使命に参加しているという意識で成長すればするほど、息子や娘は"教会意識"を形成することができ、神の国の奉仕にエネルギーを捧げる<sup>16</sup>  
ことのあらゆる美点を認識することができるようになります。(ChL n. 62)



## パネルI

### デジタル時代のキリスト教徒

#### a. キリストを中心とした家族のあり方

##### ゴール

デジタル時代には、キリストを家庭生活の中心に据えながら子育てをすることが困難になっています。どのようにしたらそれが可能なのか、証しや考察を通して示す。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 信仰教育は、それぞれの子供に適応させなければなりません。子どもの信仰を育てたいと願う親は、子どもの成長パターンに敏感であり、霊的体験は押し付けられるものではなく、自由に提案されるものであることを知っているからです。(参照：AL 288頁)
- "私たちは、子どもたちの旅の本当の姿を理解しようと努めているだろうか。彼らの魂はどこにあるのでしょうか。私たちは本当に知っているのだろうか？そして何よりも、私たちは知りたいのだろうか？" (AL 261頁)

#### b. 現代の若者に信仰を伝える

##### ゴール

現代のハイパーコネクテッドな若者たちを巻き込み、彼らの内側に、彼らを呼び、人生の充実感を得るための道へと誘う神の声があることを発見させることがいかに可能かについて、証と考察を与えること。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 子供を育てるには、秩序ある信仰の継承が必要です。このことを難しくしているのが17しかし、現在のライフスタイル、仕事のスケジュール、複雑な現代社会では、多くの人々が生きるために必死で生きています。それでも、家庭は信仰の意味と美しさを学ぶ場であり続けなければなりません」。(参照：AL n. 287)



### c. ソーシャルメディア：子どもたちの「環境」？

#### ゴール

デジタル世界を悪者にせず、それをコントロールし、社会的・仮想的関係に支配されないためのガイドラインを与え、子供たち（「チャット世代」）と対話するための適切な関係スキルを身につけようとしている家族の証を示すこと。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- "家族の中で、さまざまなメディアから発信される特定のメッセージに対して批判的になることを学ぶこともできる" (AL n.274).(AL n. 274)
- "家庭の最も重要な仕事のひとつは、希望に満ちた教育を提供することです。これは、子どもが電子機器で遊ぶことを妨げるということではなく、子どもが批判的な能力を伸ばし、デジタルスピードが人生のすべてに適用できると考えないようにする方法を見つけるということです" (AL n.275 参照)。(参照：AL n.275)
- "うまく使えば、これらのメディアは有用である"。(参照：AL n.278)
- "メディアは、私たちがお互いを身近に感じ、人類という家族が一体であるという感覚を生み出し、それが連帯感を生み、すべての人がより尊厳ある生活を送れるよう真剣に努力するきっかけとなるのです"。特にインターネットは、出会いと連帯のための膨大な可能性を提供する。これは真に良いもの、神からの贈り物です"。私たちは、今日のコミュニケーション形態が、実際に他者との寛大な出会いに私たちを導いていることを常に確認する必要があります。私たちの弱点を利用し、人々の最悪の部分を引き出すように設計されたデジタル世界を受け入れることはできません"。(参照：FT n. 205)



## パネルII

### 実存的周辺における召命と使命

#### a. 移民中

##### ゴール

家庭がいかに重要な司牧的要素であるかを理解するための証し・考察を行う。なぜなら、家庭には、孤独や混乱に陥っている人々を家庭でくつろがせたいという願いがその根底にあるからである。他の家族を迎え入れる家族。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 「移民は、その悪影響を直視し、理解すべきもうひとつの時代の徴候である。家族生活について」です。(AL n. 46)
- 移住者に同行する際、教会は、移住する家族だけでなく、残された家族にも対応する具体的な司牧プログラムを必要とします。(AL n. 46)

#### b. 依存症に直面して

##### 目標

家族内の依存症（薬物、ゲーム、ソーシャル...）というテーマで証言／考察を行うこと。家族はどのように互いに助け合うことができるのか？教会はどのように手助けができますか？

専門的な能力を含む有効な支援経験を示す。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- また、薬物の使用は、多くの家族に  
り知れない苦痛を与え、崩壊の原因になるとも  
われています。<sup>19</sup>  
アルコール依存症、ギャンブル依存症、その他の依存症も同様である。危険にさらされている家族は、「そのメンバーを助けるために行動する能力を失う...私たちは、引き裂かれた家族、根こそぎにされた若者と見捨てられた高齢者、生きている両親の孤児となった子ども、混乱し支援を受けていない青年と若年成人においてこの崩壊の深刻な影響を見ている」...。(参照：AL n.51)
- 「夫婦と子供たちという小さな輪に加えて、見過ごすことのできない大きな家族があります。[友人や他の家族もこの大きな家族の一部であり、困難や社会的責任、信仰において互いに支え合う家族の共同体でもある。[...]」(AL nos.196-197参照)。



### c. 家庭内で暴力があった場合

#### 目標

暴力に苦しむ人々に気づき、寄り添うことのできる家族のネットワークの存在価値と重要性について、証言と考察を行うこと。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 家族内の暴力は、新たな社会的攻撃性を育みます。なぜなら、「家族関係も暴力的な人格への傾向を説明することができるから」です。これは、コミュニケーションが不足し、防衛的な態度が優勢で、メンバーが互いに支え合わず、参加を促すような家族活動がなく、親子関係がしばしば対立的で暴力的で、親と子の関係が敵意に満ちている家族によく見られることである。(AL n. 51)
- 「私は、女性が時に受ける恥ずべき不当な扱い、家庭内暴力、様々な形の奴隷化について特に考えています。これらは、男性の力を誇示するのではなく、臆病者の行為です。女性がある結婚生活で耐えている言葉、身体、性的暴力は、夫婦の結合の本質に反している」。(AL n. 54)
- 「私たちは、歪んだセクシュアリティの理解の産物である支配、傲慢、虐待、性的倒錯、暴力の継続的な形態を本当に無視したり見過ごしたりできるのでしょうか？あるいは、他者の尊厳や私たちの愛という人間的な召命が、「自分自身を見つけない」という不明瞭なニーズよりも重要でなくなってしまうという事実があるのでしょうか？」(AL n. 153)





## 協議会第4回

### こんいんきょう

#### ゴール

結婚の準備コースは、洗礼の再発見を通して、儀式の後に新婚夫婦を見捨てることなく、深く同行するカテキューメナルプロセスに照らして、新しく、再活性化される必要があるのです。結婚とは到着点ではなく、召命であり、生涯続く聖性の旅であるというのが基本的な信念である。このため、教皇フランシスコが示されたように、準備は段階的に行われるべきです。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 「結婚して家庭を持つという決断は、職業的な識別の過程の成果であるべきです。(AL n. 72)
- "結婚準備のための新しいカテキューメネート"の必要性を強調したいと思います。前回の通常シノドスの教父たちの支持を歓迎し、『ファミリアリス・コンソーティオ』(n.66)ですでに提案されていることを効果的に実施することが急務です。すなわち、カテキューメネートが成人の洗礼のための秘跡的な手順の一部であるように、結婚のための準備も、結婚の秘跡的な手順全体の不可欠な部分を形成することができ、そのことが、結婚の増加を防ぐための解毒剤となるのです。  
教皇フランシスコ法王の公式演説「  
効または矛盾した結婚の祝賀の  
of the Tribunal of Roman Rota for Inauguration of the Judicial Year, 21 January 2017; Cf. AL nos. 205-211).
- 「私はすでに、洗礼と結婚という二つの秘跡の恵みに支えられたキリスト教的良心の復活を目指す若者と夫婦のための不可欠な旅程として、夫婦のカテキューメネートを約束することを推奨してきました。他の機会にも説明したように、カテキューメネートは洗礼的であるため、つまり洗礼に根ざしているため、それ自体ユニークであり、同時に、結婚の秘跡の恵みが永久的であるように、生涯において永久的な性格を持たなければなりません」  
(ローマ・ロタ裁判所職員に対する教皇フランシスコ法王の司法年度開始のための演説、2018年1月29日付)。



## パネルI

### 介護者、形成者の養成。信徒、司祭、神学者

#### a. 青少年の性と情緒に関する教育

##### ゴール

司牧の経験や教会で確立されたプロジェクトやプログラムを通して、子供や若者に愛情と性を教育する過程において、親や教育者をどのように支援するかを強調すること。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 「教会は、適切な司牧的活動を通して親と協力し、その教育的使命の遂行を援助するよう求められています。教会は、親が自分たちの適切な役割を理解し、結婚の秘跡を受けることによって子どもの教育の使徒となることを理解するよう助けることによって、常にこれを行わなければならない。子供たちを教育することによって、彼らは教会を建て上げるのです」。 (AL n. 85)
- 「性というものが矮小化され、貧困化されがちな時代に、性教育の問題に取り組むのは容易なことではありません。それは、愛のための教育、相互の自己実現のための教育という広い枠組みの中でしか見ることができない。そのようにすれば、セクシュアリティの言葉は悲しいほど貧弱になるのではなく、照らされ豊かになるのです」。 (AL n. 280)
- 若者は、成熟に向けた成長にとって有益でないメッセージにさらされていることを認識する必要があります。[中略] 私たちはまた、「子どもや青年にセクシュアリティの話題を紹介する際に」「新しく、より適切な言葉」が必要であることを認識しなければなりません。 (AL nos. 281-284)

#### b. 牧師・神学者の養成

##### ゴール

神学生や牧師が、今日絶えず求められている道徳的な課題において若者や家族に寄り添うことができるよう、有能で準備の整った人材を育成することの重要性について、経験や少なくとも認識を引き出すこと。

##### さらなる研究のためのアイデア。

- 「このことは、「司祭、助祭、男女修道者、カテキスタ、その他の司牧者に、より適切な養成を行う」必要性を示しています。世界的な協議に寄せられた回答では、聖職に就いた聖職者は、現在家族が直面している複雑な問題に対処するために必要な訓練をしばしば欠いていることが明らかにされました。」 (AL n. 202)。
- 「神学生は、婚約と結婚の分野において、単に教義的なものだけでなく、より広範な学





際的な教育を受けるべきである"とあります。(AL n. 203)



## e. パートナーの常時同伴

### ゴール

連結した司牧の経験は、特に家庭生活の最も重要な瞬間に、常に配偶者に同行することの緊急性と必要性を強調しています。共同体の存在は不可欠であり、この伴奏を確実にするために信徒と配偶者を訓練することが必要である。

### さらなる研究のためのアイデア。

- 「専門家、特に実践的な経験を持つ専門家は、司牧活動を家庭の現実の状況と具体的な関心事に根ざしたものにするのに役立ちます。「特に司牧者向けに計画されたコースやプログラムは、婚前準備プログラムを教会生活のより広いダイナミズムの中に統合することによって、助けとなることができます。」
- 聖餐式の実際の祝典を超えた司牧的伴奏が必要である（『ファミリアリス・コンソーティオ』第III部）」で対応することが必要です。この点で、経験豊かなカップルは重要な役割を担っています。小教区は、そのような経験豊かなカップルが、最終的には協会、教会運動、新しい共同体の協力を得て、若いカップルを助けることができる場所なのです”。 (AL n. 223)



## 家族的交わり

### a. 家族的な交わりと教會的な交わり

#### ゴール

夫婦の秘跡から生まれる家族の交わりは、配偶者と司祭の関係から始まる、教会内に存在すべき交わりのスタイルを体現しています。

この点については、貴重な牧師の経験が提示されるかもしれない。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- "教会は家庭の中の家庭であり、それら全ての家庭内教会の生活によって絶えず豊かにされている。「結婚の秘跡のおかげで、すべての家庭は事実上、教会のための善となるのです。このような観点から、家庭と教会の相互作用について考察することは、現代の教会にとって貴重な贈り物となることでしょう。教会は家庭にとって良い存在であり、家庭は教会にとって良い存在なのです。結婚の秘跡における主の贈り物を守ることは、個々の家庭だけでなく、キリスト教共同体全体の関心事なのです"。(AL n. 87)

### b. 人生の様々な状態を通して、教会における男女の互惠関係

#### ゴール

教会の中でさえも、男性と女性は、その男性性と女性性の中で、人生のあらゆる状態において、異なる重要な役割を担っていることを示すこと。このことは、共通の教會的使命の中で、男女の互惠性と共同責任を生きることにつながり、また、以下の役割を強化することになる。

教会の

中の女性<sup>24</sup>

#### さらなる研究のためのアイデア。

- "女"とは、女性、花嫁、母である教会のイメージです。スタイルです。このスタイルがなければ、私たちは神の民について語るでしょうが、組織として、おそらく労働組合としてではなく、母なる教会から生まれた家族として語るでしょう」（教皇フランシスコ、会議「教会における未成年者の保護、2019年2月21～24日」における介入）。
- 男女の関係、相乗効果、協力、交わりを構成的に可能にするのは、配偶者の次元である。（中略）しかし、女性は、男性以上に、"産む"という内在的な生成能力と母性的能力によって、男女間の協力と共同責任という必要な関係を世界に明らかにすることができ、それはまた教会の中に明らかにされなければならないのです。



## パネルII

### c. 教会における父性、母性、兄弟愛

#### ゴール

霊的な父性、母性、兄弟愛の経験が、地域社会の司牧の中でどのように生きることができるかを示すこと。

母親や父親のように、あるいは兄弟姉妹のように、他者を心の中に留めておくことができる、この教会の家族的側面の重要性を強調する経験を共有することができるのです。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 「私は世のためではなく、あなたが私に下さった者たちのために祈るのです。教会においても、私たちは、神が道中で私たちに託し、私たちにとって父、母、兄弟となった人々の顔を認識するように求められています。



## ガネヴォアレンスn.5

### せいそくてき

#### ゴール

聖なるものが、神が一人一人に、その人の人生の状態においてなされる呼びかけへの応答であることを示すこと。配偶者や家族は、家事、仕事、子育て、喪中、病気、兄弟間の関係、これらすべてがもたらす喜びと心配からなる日常生活の行動を通して、聖なるものとなるように召されているのです。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 「主の臨在は、日々の悩みや葛藤、喜びや希望を抱いた、現実的で具体的な家族の中に宿っているのです。[家族愛の霊性は、何千もの小さいけれども現実的な身振りで構成されています]。(AL n. 315)
- 「家族の交わりを積極的に経験することは、日々の聖化、神秘的成長への真の道であり、神とのより深い一致のための手段です。(中略) それゆえ、深い霊的願望を持つ人々は、家庭が霊の生活における成長を妨げると感じるのではなく、むしろ、主が彼らを神秘的一致の高みへと導くために用いておられる道とみなすべきである」と述べています。(AL n. 316)



## せいろ

### a. 日々の家庭生活における見識

#### ゴール

- 現代の家庭において、識別力を日々の生活習慣としてどのように実践できるかを示す。
- 個人生活や家庭生活における神の存在を理解するのに役立つ牧会経験を明記すること。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- "神の言葉は、人の私生活における良い知らせであるだけでなく、判断の基準であり、夫婦や家族が遭遇するさまざまな課題を見極める光でもあります"(AL n. 227)。 (AL n. 227)
- "この司牧的識別において、福音化と人間的・霊的成長を促進することができる要素を識別する "必要があるのです。 (AL n. 293)

### b. 新婚カップルのためのスピリチュアルガイダンス

#### ゴール

教会にとどまり、福音の真理を生きることを望む、新しい結婚をしたカップルのために、霊的な伴奏の司牧体験を証しすること。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- "新しい組合に入った離婚者が、その一員であることを実感できるようにすることが重要である<sup>27</sup>  
教会 (...)。このような状況は、「注意深い識別と尊敬に満ちた伴奏を必要とし、 (...)」。  
と、共同体の生活に参加するよう奨励されるべきである」。 (AL n. 243)
- 「教会は、常に完全への呼びかけを掲げ、神への完全な応答を求めますが、"教会は、港の灯台のビーコンのように、あるいは、道に迷った人や嵐の中にいる人を啓発するために人々の間で運ばれるたいまつのように、希望と自信を彼らの中に回復することによって、傷つき、悩む愛の兆候を示す自分の子供の中で弱い人々に注意と配慮をもって同行しなければなりません"。 (AL n. 291)





## パネル1

### c. 夫婦のどちらかが非信仰者である場合

#### ゴール

夫婦の一方が信者でない、あるいは教会に興味を示さない夫婦のために、霊的な伴走の体験を証しすること。これは、今日、世界中の家庭で非常によく見られる状態です。このような家族が教会共同体の一員であることを感じ、希望を持って婚姻の秘跡を生きるために、私たちはどのような手助けができるでしょうか。

#### さらなる研究のためのアイデア。

- 「いずれにせよ、信者でない配偶者に愛を示し、幸せを与え、傷を癒し、人生を共にすることは、真の聖化の道である。愛は常に神からの贈り物です。愛はどこに注がれようとも、しばしば不思議な方法で、「不信仰な夫は妻を通して聖別され、不信仰な妻は夫を通して聖別される」ほどに、その存在を変容させるのである。(1コリント7:14)。
- 「このような場合、福音がこのような状況に浸ることができることを証しすることが、キリスト教信仰を持つ子どもを育てることにつながります。このような場合、福音がこのような状況に浸ることができることを証しすることが、彼らの子どもたちをキリスト教信仰に育てることを可能にするのです”(AL n. 248)。 (AL n. 248)





## 夫婦と家族日常生活における神聖さ

### ゴール

日常生活の中で神の存在を感じ取ることができた夫婦や家族の聖性の証しを聞くことができる。

### さらなる研究のためのアイデア。

信徒・家庭・生活小委員会発行の「配偶者と家庭の聖性についての手引き」。



## 4. 歓談のすすめ

- a. 世界家庭集会週間がスタート
- b. 会議期間中に家族で瞑想する機会に関するアイデア
- c. 聖体礼拝
- d. **WMOFの総括的な聖餐式**
  - 一般的な提案
  - のためのアイデア。
    - ほうい
    - 説教帖
    - 家族への義務
    - 重恩





## A. 世界家族会議開催週間

- このミーティングをコミュニティで開催することも考えられます。
- これは祝賀の瞬間となるかもしれませんが。ローマでは、聖なる父の出席のもと、聖なる父によって選ばれた会議のタイトルに含まれるテーマから始まる家族の証しに捧げられた祝祭の瞬間が訪れます。「家族の愛：召命と聖性の道」です。この模様はライブストリーミングでご覧いただけます。
- 地域レベルでは、聖体祭典や祈りの時間、行列を伴う共同体の巡礼などもあり得るでしょう。

## B. 会議期間中に家族で瞑想する機会を設けるアイデア

- 各共同体は、黙想、歌、共同体の祈りのための沈黙のポーズを交互に取りながら、それぞれの必要性に応じて、提案された黙想の時間を適応させたり、発展させたりすることができます。瞑想は単なる個人的な時間ではなく、イエスとの対話と祈りの時間であることが意図されています。
- 以下は、アーティスト、マーク・ルプニックの WMOFのイメージ・シンボルから発展させた、瞑想と考察のためのいくつかの可能な提案です。<sup>31</sup>  
ルプニック神父の解説は、  
<https://www.romefamily2022.com/en/wmof-diocesi/>



ルプニクのイメージに関する瞑想のすすめ  
ルプニクのイメージ  
"このミステリーは素晴らしい"



## 2.

"このため、人は（父）および（母）を離れて妻と結ばれ、2人は1つの肉となる。

"

これは大きな謎ですが、私は、キリストと教会について話しているのです" (エペ 5:31-32)



### 1<sup>st</sup> ステップ。画像を観察してみよう

何が見えるか？

細部を

男女の愛には、ベールに包まれた謎が隠されている。

観察する<sup>33</sup>

### 2<sup>nd</sup> step: Amoris Laetitiaからの概念

- 「結婚とは、キリストと教会の愛の不完全なしるしとしての夫婦愛を経験するという特定の呼びかけに応えるものである以上、召命である"。(AL n. 72)
- 主キリストは「結婚の秘跡において、キリスト教徒の配偶者にご自身を現存させ」、彼らとともにおられます。受肉において、キリストは人間の愛を引き受け、それを清め、成就させるのです」。(AL n. 67)

### 3<sup>rd</sup> step: 熟考

- 私たちが家族を築くことに「イエス」と言うのは、結婚と家族の中で愛を貫くという神の呼びかけに対する私たちの応答なのです。私たちは毎日、この「イエス」を更新するよう求められているのです。  
家族の特徴家族とは、人の交わりである神の姿です。[...] イエスは、[...] は、結婚と家族を本来の姿に戻ただけでなく、結婚を教会への愛の秘跡のしるしとして高めました（マタイ19：1-12、マコ10：1-12、エペ5：21-32を参照）。教会を通して、結婚と家庭は神の愛の福音のあかしをするために、キリストから聖霊の恵みを受けます"(AL n. 71参照)。(参照 AL n. 71)





結婚の秘跡において、男女は「はい」と答えることで、二人の愛が浄化され、完全なものへと成長するよう、主にその変容を求めるのです。

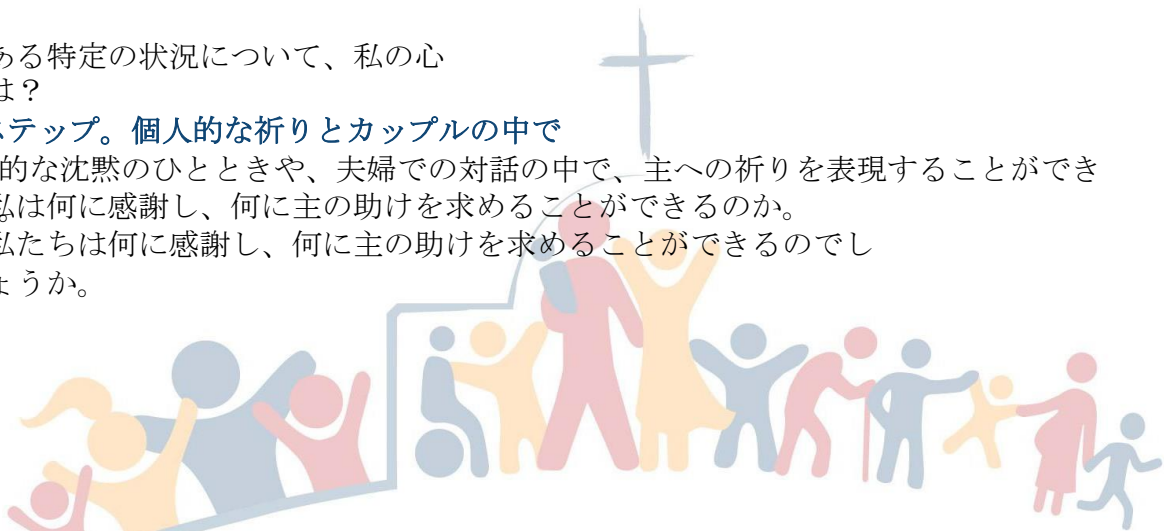
- 私たちの家族の関係は、何らかの形で「ベールに包まれている」ように見えますか？を変えるために、主に助けを求めることができますか？

ある特定の状況について、私の心は？

#### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。

私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでしょうか。



## 2.

### "主が注がれる御霊は新しい心を与える" FC n.13



#### 1<sup>st</sup> ステップ。画像を観察してみよう

何が見えるか？

細部を観察する

聖パウロの手がベールを取り去る：今、私たちは、新婦と新郎の愛が、イエスとその花嫁である教会に対して持っている、そして神が人類に対して持っている、無限かつ不可分の愛の反映であることを理解しています。

家族の中で生きる愛は、ベールに包まれたとはいえ、神の無限の愛の姿を現すものである。は、「婚活」の恋。

34

#### 2<sup>nd</sup> step: Amoris Laetitiaからの概念

神の無限の愛はあまりにも偉大な現実であり、当初人類は神の愛が私たち一人ひとりにとってどれほど偉大なものであるかを理解することも、想像することもできませんでした（ルプニク神父の説明参照）。神が私たちのために御子を捨てられ、イエスが私たちを救うために十字架上で死を申し込まれた後、神の愛が私たちに具体的に現れ、私たちはそのような偉大な愛の**神秘**を知覚するようになりました。

だからこそ、聖パウロはベールを脱ぎ始め、男女の愛の中に神の愛の一端を垣間見ることができるのです。

- 男女の愛の真理は、（中略）十字架につけられたキリストの愛の中にのみ完全に照らし出される」。（中略）排他的で決定的な愛に基づく結婚は、神とその民の関係の象徴となり、その逆もまた然りである。**神の愛の方法が人間の愛の尺度となるのです**" (AL n. 70)  
家族の特徴家族とは、人の交わりである神の姿です。[...] イエスは、[...] は、結婚と家族を本来の姿に戻ただけでなく、結婚を教会への愛の秘跡のしるしとして高めました（マタイ19：1-12、マコ10：1-12、エヘ5：21-32を参照）。教会を通して、**結婚と家庭は神の愛の福音のあかしをするために、キリストから聖霊の恵みを受けるのです**"(AL n. 71参照)。(参照 AL n. 71)







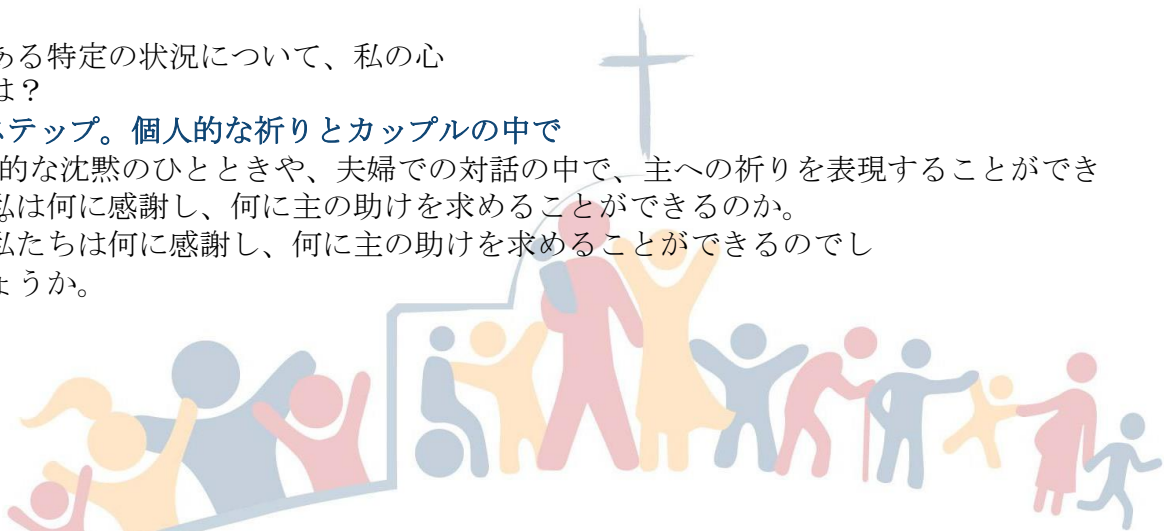
- 「聖書と伝統は、私たちに三位一体についての知識を与えてくれます。

ある特定の状況について、私の心  
は？

#### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができ  
ます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。

私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでし  
ょうか。





### 3.

#### 3<sup>rd</sup> step: 熟考

私たちが家族の中で生きている愛は、「神の愛のあり方」の「ベール」のような姿を現しますが、聖霊の力によって、そのベールをどんどんはがし、愛する力を日々、成長させていくことができるのです。

- どんな弱さを克服しようとするべきなのか。
- 私たちの関係にはどのようなもろさがあり、それをどのように乗り越えようとするのでしょうか。

#### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとつときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができます。

- 私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。
- 私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでしょうか。



## "彼らはぶどう酒を持っていない"(ヨハネ2:3)



### 1<sup>st</sup> ステップ。画像を観察してみよう

何が見えるか？

細部を観察する

壺は石でできていて、水で満たされていたが、今は空である。

### 2<sup>nd</sup> step: Amoris Laetitiaからの概念

- 「たとえ、山を切り崩すほどの信仰があっても、愛がなければ、私は無に等しい。(中略) しかし、"愛"という言葉はよく使われますが、しばしば誤用されます。[中略) 愛は、夫婦とその子供たちの日常生活の中で経験され、育まれるものです」。(参照：AL nos.89-90)
- 「家族の生活にはさまざまな危機がつきものですが、それもまた劇的な美しさの一部なのです。危機を乗り越えることは、二人の関係を弱めるものではなく、むしろ二人の結びつきを改善し、安定させ、成熟させるものであることを、夫婦は理解しなければならない。一緒に暮らすことは、二人の満足度を低下させるのではなく、向上させるものである。幸せのために。それぞれの危機が、より親密になるための、あるいはもう少し学ぶための修行となる。  
結婚するということはどういうことなのか。夫婦が、避けられない下降線を辿ったり、我慢できる平凡さを諦める必要はない。それどころか、結婚が障害を克服するための挑戦と見なされるなら、それぞれの危機は、二人の関係のワインを熟成させ、向上させる機会になるのです。[中略) それぞれの危機は、私たちに教えるべき教訓を持っているのです。(AL n. 232)

### 3<sup>rd</sup> step: 熟考

壺の中に入っている水は、私たち人間の愛に例えることができ、時間が経つにつれて、擦り切れていくように見えます。私たちの人生には、瓶の中に愛がほとんど残っていないと感じる時期や時間があります。

- 大小にかかわらず、あらゆる危機は「二人の関係のワインを熟成させ、向上させる機会」  
を象徴する。私は本当にそう信じているのだろうか？困難なときでも、それを信じて希望  
私たちは、神との関係をどのように築き、神を唯一の愛の源として認識し、そこから常に  
愛を汲み出し、私たちの瓶や心を満たすために戻ることができるのか、一緒に考えて  
みましょう。

### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができ  
ます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。

私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでし  
ょうか。



### 3.

を持ち続けることができるだろうか。

#### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとつときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでしょうか。



#### 4.

主が注いでくださる霊は、(...) 男と女を、キリストが私たちが愛してくださったように、互いに愛し合うことができるようにしてくださるのです。FC n. 13



#### 1<sup>st</sup> ステップ。画像を観察してみよう

何が見えるか？

細部までよく観察している37

ルプニック神父は、キリストの脇腹から血として出てきたワインを注ぐ聖パウロを描いている。それは人類に捧げられた愛の善きワインである。

#### 2<sup>nd</sup> step: Amoris Laetitiaからの概念

「夫婦の共同生活、夫婦が子供たちや周囲の世界と築く関係のネットワーク全体は、聖餐の恵みに浸され、強化されるでしょう。[聖餐式は、神が私たちと一体となることによって、人類に対する愛の全容を示されたものです。夫婦のどちらも、どんな困難に直面しても、一人で悩むことはありません。二人とも、献身、創造性、忍耐、日々の努力をもって、神の贈り物に応えるよう求められているのです。二人は、二人が出会うすべての新しい状況において聖霊の恵みを感じられるように、二人の結婚を奉獻した聖霊の助けをいつも呼び起こすことができます"。

(AL n. 74)

#### 3<sup>rd</sup> step: 熟考

私の家族

私たちは、神との関係をどのように築き、神を唯一の愛の源として認識し、そこから常に愛を汲み出し、私たちの瓶や心を満たすために戻ることができるのか、一緒に考えてみましょう。

#### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。

私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでしょうか。



- 私は、内なる愛の新しい方法について、創造的かつ持続的に考えるという私のコミットメントを振り返ります。

### 3.

個人的な沈黙のひとつときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでしょうか。



## 閉会の祈り 家族の愛召命と聖性への道

天の父よ。  
私たちはあなたの前に現れます。  
を賛美し、家族という偉大  
な贈り物に感謝します。

夫婦の秘跡によって奉獻されたすべての家庭のために、あなたに祈ります。彼らが日々、受けた恵みを再発見することができますように。  
また、国内の小規模な教会としても利用されています。  
あなたの存在と、キリストが教会を愛している愛を、彼らがどのように証しするか知っていますように。

困難や苦しみに直面している  
すべての家族のために、あなたに祈ります。  
あなただけが知っている病気や事情によるもの。  
持続させ、気づかせる  
あなたの無限の慈悲を体験し、愛の中で成長する新しい方法を見つけることができるように、あなたが彼らを呼ぶ聖なる道から。

子供たちや若い人たちの  
あなたに出会えますように  
また、両親と祖父母のために祈ります。  
彼らは、肉体と精神において、子供たちを世話する神の父性と母性のしるしであることを自覚していますように。  
彼らに託すのです。  
そして、家族が世界に与えること  
のできる友愛の体験のために。

ために、あなたに祈ります。38

私の家族

私たちは、神との関係をどのように築き、神を唯一の愛の源として認識し、そこから常に愛を汲み出し、私たちの瓶や心を満たすために戻ることができるのか、一緒に考えてみましょう。

### 4<sup>th</sup> ステップ。個人的な祈りとカップルの中で

個人的な沈黙のひとときや、夫婦での対話の中で、主への祈りを表現することができます。私は何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのか。

私たちは何に感謝し、何に主の助けを求めることができるのでしょうか。





主よ、それぞれの家族に祝福を  
は、教会における聖性への具体的な召命を、宣教師  
の弟子となるための召命として生きるかもしれない  
のです。

生命と平和への奉仕のために  
私たちの司祭、修道者、教会のすべての召命と交わりながら。

世界家庭集会の祝福を。  
アーメン。





## C. 聖体拝領

### なぜ、聖体礼拝のひとつきを提案するのか？

主との親密な時間を提供すること、主が夫婦一人ひとりの心に語りかけてくださる場とすることです。聖体礼拝は、個人的な礼拝の時間だけでなく、夫婦が共に聖体の前にひざまずき、イエスとの間に交わされる礼拝と祈りの時間でもあるのです。

### 目標

- 一人ひとりにイエスのまなざしを体験する時間を提供し、それを貴重な贈り物として迎え、自分のまなざしでお返しすること。
- **夫婦が共に**聖体においてイエスを観想し、イエスの愛のまなざしを共に体験し、イエスが二人に語りかけようとする御言葉に心で耳を傾ける機会を提供することです。

### いつ？

- 一日の終わりの束の間のひととき。
- より長い時間、エンカウンターのある日に。
- ローマでは、6月25日（土）の朝、司祭会議の最終セッションの前に聖体礼拝が行われ、ストリーミングで生中継を見ることができます。





## D. 閉会式

### 一般的な提案

- 6月26日（日）の聖体祭の一つは、共同体の家族と共に集会を閉じるために捧げられるかもしれません。
- ミサに家族全員が参加することを奨励する。
- 可能であれば、コビド対策規則に則り、家族でお供え物の行列を行うことができます。ワインやパンに加えて、家族の愛を表すシンボルを祭壇に持ち込むことができた。
- その日のミサで集められたお金は、困っている家庭の支援や、何らかの司牧的な家庭のプロジェクトに指定することができます。
- 信者の祈りは、家族の異なるメンバー（両親、子供、祖父母）が読んでもよい。
- ミサの最後には、ルプニック氏の公式イメージとWMOFの祈りが遺族に配られました。家族への義務付け、すなわち「派遣・伝道」のメッセージが与えられている場合、40この看板を印刷したものを、義務化が発表された後に渡すことで、家族が持ち帰る具体的な看板として残すことができるのです。

### しんぱいごと

#### テーマに対するアイデア

- 教会のために、神の民のために
- 教皇、司祭、助祭のために
- 婚約中のおふたりへ
- より弱い立場にある家族のために（分裂、病気、悲しみ）
- 障がい者向け
- 子供向け
- 新生活

家庭における神聖  
さ  
リーダーへ

#### いくつかの提案

教会のために、全世界で宣べ伝え、強いあかしをすることができるように。  
家族に対する神のご計画の素晴らしさを知り、家族を贈り物と召命として大切にする。  
祈ろう...



- 教皇フランシスコのために、すべての司祭と助祭のために、家族とともに、教会を「大きな家族」として築き上げ、その中で一致と友愛の交わりを保つことができるようにします。  
祈ろう...
- 婚約中のカップルのために、キリスト教の結婚におけるキリストの存在によって経験される愛の喜びを証しすることができる家族と、私たちのコミュニティで出会うことができるようにする。  
祈ろう...
- 大きな痛みを伴う困難に直面している家族のために、私たちのコミュニティで具体的なサポートを見つけ、あなたへの希望を失うことがないように。  
祈ろう...
- 病気の疲れや悲しみの痛みを耐えている人たちのために、私たちのコミュニティの家族が互いに支え合うことを学び、困っている人たちに助けやサポートを与えるために心を開く方法を知ることができますように。  
祈ろう...
- 私たちのコミュニティが、すべての障害者が歓迎され、教会の中で顕著な役割を見出すことができるよう、常に新しい方法を見つけることができるように。  
祈ろう...
- 主よ、私たちはあなたに祈ります。世界中のすべての子供が、その子を歓迎し、その子が愛されていると感じ、その子が幸せで愛のある子に育つために必要なものを与えてくれる家庭を持つことができますように、と。  
祈ろう...
- 主よ、家族の崩壊に苦しむ子どもたち、家族を奪われた子どもたちが、生きることを励まし、希望を教えてください。歓迎のまなざしに出会えるよう、あなたに祈ります。  
祈ろう...
- 主よ、私たちはすべての母親をあなたに委ねます。そうすれば、母親は自分の胎内に生まれるすべての子どもを大切に、そして勇気をもって迎え入れ、守ることができます。  
祈ろう...

各国の指導者が、具体的な支援を行えるような決断をされることを祈念しています。特に最も貧しく不利な立場にある家庭を対象としています。  
祈ろう...



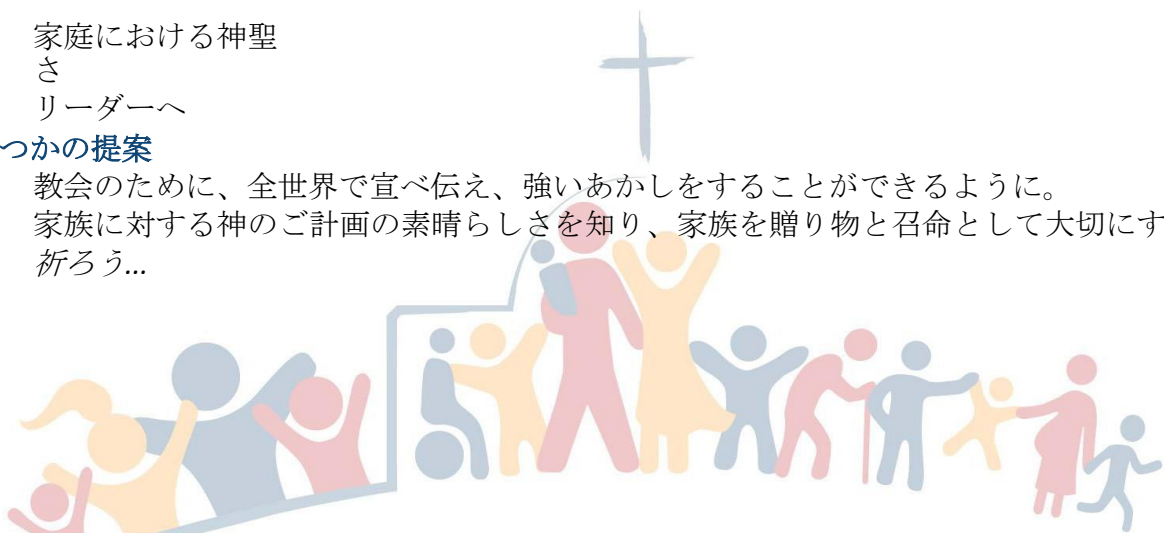


- 主よ、私たちはあなたに祈ります。すべての家族が召されたと感じると同時に、聖なる道へとあなたによって導かれ、支えられていますように。  
祈ろう...

家庭における神聖  
さ  
リーダーへ

#### いくつかの提案

教会のために、全世界で宣べ伝え、強いあかしをすることができるように。  
家族に対する神のご計画の素晴らしさを知り、家族を贈り物と召命として大切にする。  
祈ろう...



## 教誨師

普通時第十三日曜日

1クダス19:16、19-21、詩篇15篇、ガラ5:1,13-18、ルカ9 : 51-62。

- 今読んだ福音の箇所は、私たちがここ数日、家族の召命について考えてきたことを、かなり真剣に受け止めるようにと招いています。イエスと同じように、私たちも新しい旅に出るための「固い決意」をするよう求められています。私たちが聞いた言葉や分かち合った証言は、このような激しい体験を共にした後でなければ更新できない旅の糧となり、支えとなり得るのです。
- 教皇フランシスコはこう語っています。「私たちは、牧師と並んで配偶者を必要としています。他の家族とともに歩み、弱っている人を助け、困難の中にあっても、キリストは結婚の秘跡の中におられ、人生のあらゆる状況において、すべての人に優しさと忍耐と希望を与えてくださると発表するのです」。私たちの家族-配偶者、娘と息子、孫、祖母と祖父、姉妹と兄弟-は、実際、私たちの教会共同体の資源なのです。私たちの家族という学校の中で、互いに愛し合うことを学んだ私たちは、周りの人々に愛を分かち合い、最も困難な状況にある人々の証人となることができます。
- すべての教会の現実がそうであるように、家庭もまた、自己言及的に生きるのではなく、出て行く道を引き受けるよう求められているのです。今日の福音書では、イエスは非常に厳しい言葉を発し、両親を埋葬する義務の前に、イエスに従うことを置いているようです。私たちの最も大切なものでさえも、そのようなものであると言いたいのです。に根ざし、出て行って発表するダイナミズムがなければ、所有物は枯れてしまいます。の存在感を示す。
- 私たちの愛の宝物を隠しておくのはやめましょう。私たちの隣に住んでいて、最も必要としている人たちに、その愛を分かち合いましょ。すべてのクリスチャン家族が、隣人、近所、子どもの学校の友達など、困っている家族、孤独な老人、支援を必要としている子どもを探してあげましょ。母性的、父性的に、優しく、具体的に世話をし、彼らを私たちの家族の一員にしようではありませんか。そうすれば、私たちの心の扉は開かれ、私たちが受け取った愛が私たちの周りの世界に浸透していくことでしょう。
- 教皇フランシスコは、福音の告知によって刷新される世界という視点を、身近なイメージを使って表現したかったのでしょう。Fratelli Tutti (フラテッリ・トゥッティ)」です。確

各国の指導者が、具体的な支援を行えるような決断をされることを祈念しています。  
特に最も貧しく不利な立場にある家庭を対象としています。  
祈ろう...





かに、世界は新しい友愛を再発見する必要があり、家庭は一人ひとりがこの感覚を生きることを学ぶことができる場所です。しかし、私たちは父性や母性の必要性も強く感じています。つまり、キリスト者が、子供たちを持つ親と同じように、ますます粉々になりそうな社会に対する責任を自ら負う必要性を感じているのです。



## かぞくへのおしえ

### どんなものですか？

- それは、この日々の終わりに、主が各家庭に与えてくださったものです。「私があなた方に与えたものを、今度は他の人たちに与えなさい。」
- 「イエスは十二人を召集して、二人ずつ送り出し始められた」（マコ6：7）。夫たちをイエスの弟子として送り出すことは、洗礼による家族の王権的祭司権が、結婚によって再活性化されることを示している。

### その目標は何でしょうか？

- 家族に対して、自分たちの共同体の司牧の旅の中で、自分たちに託されている特定の任務を示す。

### 誰が割り当てるのか？

- 司教、牧師、または地域社会の指導者。

### これはいつやるのですか？

- 集会の日々の締めくくりとして行われる。それは「送り出しと伝道」のメッセージであり、司教や牧師は、それを読んだ後、プリントアウトして家族に渡すことができます。閉会ミサで家族に渡す場合は、印刷したルプニクの像と世界会議の祈りも、具体的なサインとして家族に渡し、家族が持ち帰ることもできる。
- 6月27日（日）にローマで行われるアンジェラスで、聖なる父から家族への指令があり、その様子はライブストリーミングで見ることができます。



## 祝言

父なる神よ、すべての家族の源  
であるあなたをほめたたえ、祝  
福します。  
は、天と地の名前がついています。

聖霊の力によって女から生まれた御子イエ  
ス・キリストによって、すべての家庭が生  
命と愛の真の聖域となるよう、私たちにお  
与えください。  
常に更新される世代のために。

あなたのスピリットで  
夫と妻の考えと働きを、家族のために導く。  
と、世界のあらゆる家庭の  
国内社会では助成金  
子どもたちが人間的、キリスト教的に成長するための強力なサポートを得ることができます。

愛しましょう。  
婚姻による奉獻  
は、あらゆる弱さと危機よりも  
あなたの教会が祝福されますように  
使命を果たす  
地球のすべての国において、  
家族のために、家族とともに  
。

強いことを証明する。 44

私たちの主キリ  
ストのために。  
アーメン

